

# 諸 注 意

## セーリングセンターでの練習について

1. 練習に行く際は、事前にセーリングセンターと大会事務局へ大学ごとに代表者の氏名と緊急連絡先、出艇人数、練習期間等を連絡すること。
2. 毎回出艇申告、帰着申告を必ず行うこと。
  - 出艇料、施設使用料は大学ごとにまとめて、セーリングセンターの事務所に支払うこと。(事務所は、新セーリングセンター2階へ移転しました。)
3. 道具をセーリングセンターに置く場合は、置き場を必ずセーリングセンタースタッフに確認すること。
  - 各大学割り当てられた範囲内に道具をまとめ、強風の際に道具が飛ばないように抑えるためのロープ類・土嚢類・道具の下に敷くシート類は各自で用意し、責任を持って管理すること。
  - また土嚢を使った際は、各自で責任を持って持ち帰るか処分をすること。
4. セーリングセンターでの練習の際に、出したゴミは各自で責任を持って処分すること。
  - 建物の中への飲食物の持ち込みは禁ずる。
5. 海面の独占は一切認めない。
  - 早い者勝ちではないので、各大学協力し合うこと。
  - 出艇の際、スロープから向かって左側は船の航路のため、右側から出艇すること。
6. 道具の洗浄に、備え付けのホースを使ってもらって構わないが、使用後は必ず蛇口を閉め、ホースは巻き取り綺麗に整えること。
7. 浜の宮ビーチからの出艇は安全対策が整っている大学のみ認める。但し、その場合には、セーリングセンターは一切の責任を負わない。
8. 緊急連絡用として、各大学2名以上は携帯電話を海上へ持っていくこと。
  - アクアパック等の貸し出しは行わないため、各自で用意すること。
  - セーリングセンターの電話番号(073-448-0251)を登録し、もし海上で緊急事態があった場合、早急に電話すること。
9. その他、セーリングセンターの利用が初めてでわからない場合は、事務所に確認をすること

## 更衣室の利用について

1. ウェットスーツ等の着脱は更衣室でおこなうこと。(更衣室は、新セーリングセンター2階にあります。)
  - 新セーリングセンターに入館の際には、潮気や水気、砂などをよく拭き取ること。
  - エレベーターの利用は控え、階段を利用すること。
2. 更衣室内のロッカーの荷物は置いたままで帰らないこと。(一日毎に中の物は処分します。)
  - ロッカーの鍵を紛失した場合は、3000円の紛失料を頂きます。
3. 更衣室内の洗濯機の利用は、有料です。利用者は事務所まで申し出ること。

## 駐車場について

1. 駐車場には限りがあるため、なるべく乗り合わせで来ること。
  - 駐車場の場所は、セーリングセンタースタッフの指示に従い、指定された場所へ駐車すること。
  - 大会中は、運営スタッフや関係者の駐車スペースを優先し、駐車すること。
2. 道具の積み下ろしをする車は、スタッフの指示に従い、ハーバー内に一時停車することを許可する。
  - 但し、積み下ろしが終わり次第すぐに、駐車場へ車を移動させること。

## その他

- ・バーは2月に設置予定。隣の大学のスペースが空いているようであればその場所に置いてもいいが、基本的には自分の大学のスペース内に道具を置くこと。
- ・3月1日よりセーリングセンターでの練習は団体メンバーのみに制限する。

## 和歌山マリーナシティホテルの利用について

1. 室内への濡れたウエットスーツの持ち込みは固く禁ずる。
2. ビーチサンダル、クロックスでのホテルへの出入りを禁ずる。
  - ・服装は特に規定はしないが、常識の範囲内での服装を心がけること。
3. 表彰式時を除いて、和歌山マリーナシティホテルへの宿泊者以外の立ち入りを禁ずる。
  - ・ホテルへの出入りにはIDカードが必要のため、選手は大会初日のレジストレーション時に学連委員からIDを受け取る
  - こと。
  - ・IDを紛失した場合の再発行はできないため、紛失することのないように
4. 原則、選手の車はホテルの駐車場に停めること。（\*但し、積み込み、積み下ろし時は例外とする。）
  - ・徒歩圏内のため、大会期間は極力セーリングセンターの駐車場を利用しないこと。
  - ・また、選手の車には大会初日のレジストレーション時に配布する駐車許可証を置いておくこと。
  - ・駐車許可証も再発行はしないため、紛失することのないように
5. 選手以外の者で和歌山マリーナシティホテルへの宿泊を希望する者は、その旨を大会事務局まで事前に申し出ること。
  - ・期日は2月1日とする。

## 表彰式、宴会について

1. 未成年の飲酒は固く禁ずる。
  - ・未成年者は区別をするため、表彰式受付時にIDカードを配布する。
  - ・表彰式の間は目に見える場所にIDをつけること。
2. 服装の規定は特にしないが、私服や正装等で表彰式に参加すること。
  - ・一目で大学がわかるよう、体育会の大学は正装、サークルの大学はチームで統一した服装着用が好ましい。（チームジャンパー等）
  - ・パジャマや部屋着のような服装（スウェット、ジャージ等）での参加は控えること。
3. 宿泊者以外の者は宴会終了後、速やかに各自の宿に帰ること。
  - ・宿泊者以外の者の部屋への訪問は一切認めない。
  - ・**無断で宿泊した場合は、1人につきペナルティとして2倍の宿泊料を請求する。**
4. 応援組の宴会費は以下の通りである
  - ・未成年 4500円（ソフトドリンク飲み放題）
  - ・20歳以上 5500円（アルコール飲み放題）
  - ・各大学の代表者は、応援組の表彰式への参加人数を **2月26日(木)**までに大会事務局まで連絡をすること。  
その際に、未成年と20歳以上の人数を分けて明記すること。（未成年に関しては名前も明記すること。）  
20歳以上であってもアルコールを一切飲まない人は、未成年の料金での参加を認める。  
宴会受付時に再度その旨を申し出ること。  
期日を過ぎた人数変更は認めない。

※尚、これらの内容は随時変更の可能性がある。

2014年度全日本学生ボードセーリング選手権大会 大学対抗戦  
大会実行委員長 松井 汐織